



助けてって言ってもええねんで
子どもと家庭の孤立をほどく取り組み

認定 NPO 法人 CPAO 活動報告書

2025年4月～2026年3月

CPAO(シーバオ)は、制度につながる前の子どもや家庭と出会い、
「まずはごはん!」を入口に、居場所、相談、生活サポート、
仕事づくりへとつながる活動を行っています。



CPAO(シーバオ)は、子どもや家庭を社会全体で包み支えるという意味を込めた名前です。



代表メッセージ

「まずはごはん！」

「助けてって言ってもええねんで」。

これまでの活動の中で、制度につながる前に孤立してしまう子どもや家庭と、私たちは数多く出会ってきました。

また、制度につながっても、それだけでは救われない親子もいます。

経済的な困難、家庭や学校での問題が重なり、誰にも相談できないまま状況が深刻化していくことがあります。

シーパオは、そうした子どもや家庭と「まずはごはん！」から出会い、親子丸ごとのサポートを続けてきました。

大切にしてきたのは、「助けてって言ってもええねんで」と言える関係です。

食べることは、生きること。

2013年の設立以来、顔を合わせ、ごはんを一緒に作り、食べ、遊ぶ中で関係を育んできました。

その中で、「家や学校がしんどい」「支払いが追いつかない」「暴力がある」といった声がこぼれます。

食糧支援も、“今”を支えながら、顔を合わせて話せる関係をつくる大切な機会になっています。

2025年度で、活動は13年目となりました。

この年は、米不足や物価高に加え、能登半島地震後の支援も重なりました。

食糧支援の依頼は毎日のように届き、家庭のしんどさと社会の支えの弱さが、これまで以上にはっきり見えた一年でした。

珠洲市では、子どもが安心して過ごせる場も、保護者が話せる場も、まだ十分ではありません。

大阪でも、家にいられず、頼れるおとなもなく連絡してくる子どもや若者がいます。

ときには、自死に至る現実とも向き合わなければなりません。

そうした中でも、コロナ禍以降は仕事づくりにも本格的に取り組んできました。

「支援より、仕事を。」

若者がショコラティエとして腕を磨き、シングルマザーがバリスタとして役割を担う姿は、次の希望にもつながっています。

本レポートには、2025年の歩みと現場の声を記しました。

格差が広がる社会の中で、しんどさを抱える子どもや家庭と丁寧につながり続けられるよう、原点を忘れず、これからもアウトリーチに力を入れてまいります。

日頃より支えてくださっているみなさまに、心より感謝申し上げます。

ミッション

子どもの貧困や虐待をなくすこと

ビジョン

子育ての社会化



徳丸ゆき子

認定NPO法人CPAO 理事長
大阪子どもの貧困アクショングループ代表

大阪市生まれ。NPO法人にて不登校、ひきこもり支援に従事したのち、2002年より国際協力NGOに所属。国内事業を担当。子どもの社会参画、子どもの貧困、東北大震災復興支援スタッフを経て、2013年に現団体設立。2020年に第6回糸賀一雄記念未来賞を受賞。

マンスリーレポート (2025年4月~2026年3月の活動報告)

以下に記載したものに加えて、毎週水曜日の夕方に大阪市生野区小路のCPAOキッチンでの「しーばごはん会」とそのあとの「しゅくだいカフェ」を行いました。また随時、相談・サポートを実施することができました。日々の活動の主なものを紹介します。



2025年

4月

- 4~7日 能登半島珠洲市バントリー&子ども食堂&プレーパーク
- 12日 CPAOカフェ&フードバントリー
- 17日 シェアキッチン&オンライン報告会 @CPAOキッチン
- 18~20日 能登半島珠洲市子ども食堂 &プレーパーク
- 25日 臨時理事会

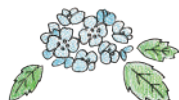


5月

- 2~5日 能登半島珠洲市子ども食堂&プレーパーク&タケノコ掘り
- 10日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン
- 15日 シェアキッチン&オンライン報告会@CPAOキッチン
- 16~19日 能登半島珠洲市子ども食堂&プレーパーク
- 30日~6月2日 能登半島珠洲市田植え&子ども食堂&バントリー

6月

- 2日 講演@近畿労働金庫NPOアワード
- 14日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン
- 19日 オンライン報告会
- 20~23日 能登半島珠洲市バントリー&子ども食堂&プレーパーク
- 23日 東南ロータリーインタビュー撮影



7月

- 4~7日 能登半島珠洲市バントリー&子ども食堂&プレーパーク
- 13日 CPAO年次総会&記念イベント@CPAOキッチン
- 17日 シェアキッチン&オンライン報告会&夏のボランティア説明会
- 22日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン
- 24日 生野区NPO法人連絡協議会総会参加



8月

- 1~4日 能登半島珠洲市子ども食堂&プレーパーク
- 8月・9月 インターン学生受け入れ
- 9日 ブチ夏祭り@CPAOキッチン
- 20日~23日 夏休みお泊り会 (大阪/珠洲市親子合同@はしもとランチ) /海遊館&関西万博来訪 (東南ロータリークラブ記念事業)



9月

- 7日 講演@社会医学学会総会
- 12~15日 能登半島珠洲市子ども縁日 &お茶会&草刈り
- 17日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン
- 18日 オンライン報告会@CPAOキッチン
- 27~28日 能登半島珠洲市稲刈り&ハザかけ
- 27日 CPAO WORKS 出店@宝塚ハミングマルシェ



10月

- 3日~7日 能登半島珠洲市お米収穫祭&子ども食堂&プレーパーク
- 11日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン
- 16日 オンライン報告会@CPAOキッチン
- 31~11月3日 能登半島珠洲市子ども食堂&プレーパーク&お茶会

11月

- 8日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン
- 15日 東南ロータリークラブ創立40周年記念式典出席
- 15~17日 能登半島珠洲市子ども食堂&プレーパーク
- 20日 シェアキッチン&オンライン報告会@CPAOキッチン
- 22~23日 CPAO WORKS 販売@自然栽培フェア大阪直営
- 30日 CPAO WORKS 販売@商工グリーンマルシェ



12月

- 8~15日 ドイツ・ハンブルク視察
- 18日 シェアキッチン、田辺三菱製薬労組Web講演会
- 19~22日 能登半島珠洲市子ども食堂 &プレーパーク&クリスマス会
- 29日 フードバントリー (おせち) 配布/発送/宅配



2026年

1月

- 12月31~1月2日 年末年始お泊り会@はしもと
- 15日 シェアキッチン
- 17~18日 お泊り会&お餅つき大会@はしもと
- 22日 CPAO WORKS KBS京都ラジオ出演
- 25日 CPAO WORKS 販売&お話し@楽天堂
- 31日 CPAO WORKS 販売@よつばの土曜日



2月

- 2月・3月 インターン学生受け入れ
- 14日 シェアキッチン&フードバントリー
- 19日 マメカフェタ
- 21~22日 お泊り会
- 28日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン



3月

- 14日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン
- 28日 CPAOカフェ&フードバントリー@CPAOキッチン



子育ての社会化のための基本的な取り組み

CPAOでは「まずはごはん!」を入口に、居場所、相談、生活サポート、仕事づくりへとつながる支援を行っています。困窮する子どもと保護者、若者の一人ひとりとごはんを食べながら信頼関係を築き、困りごと一つ一つをサポートしていくこと、子どもや保護者、若者ら自身が本来持っている力を引き出すこと、それらのサポートを社会全体で引き受けていくことを目指しています。

☆助成：令和7年度・こどもの未来応援基金の支援を受けて実施しています。

食のサポート(ごはん会(子ども食堂)とパントリー)

CPAOでは「まずはごはん!」を入口に、居場所、相談、生活サポート、仕事づくりへとつながる支援を行っています。毎週水曜日の「しーばおごはん会」と、月1~2回のパントリー(食材提供・お届け)を無償で実施。2025年度現在ごはん会・お泊り会・シェルター等のべ680食、食糧パントリーのべ600世帯です。



パントリーを受け取った方々からの声

- ★お米&食材をありがとうございます!お米の高騰や物価上昇に加え、給湯器の故障で大きな出費が重なり、途方に暮れていた時に届きました。
- ★お米がなくなったタイミングで届き、もう超絶に感謝です。
- ★(娘さんと体調を崩し、医療費など出費が増えていたご家庭から)今回はお米を多く入れていただき、とても嬉しかったです。
- ★とにかくごはん!今は3食食べられるだけで幸せ。おかげさまで子どもたちも元気に過ごしています。
- ★夏休みでありがたい、食糧があると安心します
- ★給料日前で冷蔵庫が空っぽのときにCPAO便が届いて涙が出た
- ★普段買えない品々をありがとうございます。とても助かっています。
- ★何でも高くして…子どもが喜んでます。
- ★外に出られず、宅配していただき感謝しています。
- ★CPAO便で頂いた牛肉、めっちゃ美味しかったです。
- ★送って頂いた食糧は、子ども達&私の命とパワーの源となっております。



学びのサポート(しゅくだいカフェ)

毎週水曜日の「しーばおごはん会」の前後、夏休み、冬休み、春休みなどに実施。子どもたちの宿題を、学生インターンやスタッフらが見守りつつ、学校での悩みもおしゃべりした。



ごはん会やしゅくだいカフェに来る子どもたちの声

- ★「明日からテストやねん、いややわー」「部活でもめててさー」と話す中学生
- ★「学校しんどくて休んだ。でもCPAOには行く」
- ★「朝も昼も食べてない」「CPAOで食いつないでる」
- ★「あんなー」「それでなー」「聞いてー」とご飯を囲みながらたくさん話してくれる
- ★「あ〜おなかすいた!」試験勉強の中学生と、横でブロック遊びする小学生
- ★来たときはどんよりした表情であまり話したがらない受験を控えた中学生、「テストどうやった?」と聞くと、「全部合わせて100点もいかなかった。しかもテスト中ちよっと寝てもてん」と本音をこぼす。点数だけでなく、いろいろありながらもテストを受けきりここまで来たことを一緒に受け止める。
- ★少し前まで食が細かった子が、残さず食べきるようになり「おかわり、ちょっとだけしてみようかな」という嬉しい変化あり。
- ★1~3歳のちびっこと中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんが自然に遊んでくれている。



遊びのサポート(お泊り会と里山体験)

ゴールデンウィークウィーク、夏休み、冬休み、春休みに、和歌山県橋本市の「はしもとBASE」を子どもたちと訪れ、畑づくりや里山体験をしました。



生活サポート(シンママ家事育児サポートと就労支援/カフェ)

自分で解決が難しい困りごとがある子育て中の方にゆっくりお話を聞き、必要とされていることをお手伝いしています。また一般企業でのしごとが難しい方としごとづくりに取り組んでいます。



若者サポート(相談会)オンラインレスキュー

制度につながる前の段階で相談できる場所が少ないことも、子どもの孤立の一因になっています。CPAOでは、日常的な関係の中から相談につながるケースも多くあります。2013年の設立時より行っている大阪の繁華街に居る子らへのアウトリーチや相談・サポート活動を、現在はオンラインで行い、不登校、親からの暴力、DV、生活困窮などの緊急SOS対応を、子や保護者を対象に行っています。2025年度年度のべ約1035件。一度きりでなく継続的に関わっていくのが特徴です。



オンラインを窓口にした相談・サポートから

★最近、相談の件数が増えています。本当に対応が追いつかない状況です。さらにコロナ禍以降、対面でお話できる方が減り、メールでのやりとりが中心になっています。その結果、お困りごとの全体像をつかむまでに何度もやりとりを重ねる必要があり、現場の負担も大きくなっています。最も多い相談は「食糧支援してほしい」という声です。けれど、一度食べものをお送りすれば何とかなるという方は、ほとんどいません。顔の見える関係のなかで、様々な活動にも関わってもらい、おおむね月に一度の食糧サポートを行うことが理想です。これは単なる物資の支援ではなく「子育てサポート」の一環として、心ある方々から寄せられた、安心でおいしい食べものを通じて、親子の暮らしに小さな励ましを届けたいという想いで続けているものです。オンラインで食糧支援のご相談を受けたときは「どうして食べ物に困っているのか」をお聞きすることで、他にもサポートできないことがないか、一緒に考えていきたいと思っています。「色々話すのは嫌だ」「プライドがある」という気持ちがあるのかもしれませんが、それでも、子どもがお腹をすかせ、成長や発達に影響が出てしまうような状況は、一緒に乗り越えていきたいとCPAOは考えます。相談してくださる方には、私たちが“ともに子どもを育てる仲間”として、お話を聞かせていただければと願っています。

★オンラインでの相談をきっかけに関わっている子どもたちのまわりで、つらい出来事が続きました。子どもたちもスタッフも、気持ちが落ち込んでしまいました。そこで少しでも心と体を休められたらと思い、その子たちと一緒に、和歌山県橋本市にあるCPAO(シーバオ)の拠点へ出かけました。橋本の拠点の周囲は里山です。みんなで周辺を散歩しながら、よもぎや、CPAO WORKS/若者やシングルマザーの仕事づくりの一環で育てているハーブを摘みました。拠点に戻ってからのランチは、「あったかいものが食べたい」というリクエストに応じて、お鍋にしました。湯気の立つ鍋をはさんで他愛もない話をしているうちに、少しずつ表情がゆるんでいきました。食後は、おしゃべりを続けながら、摘んできたよもぎとハーブでバームづくり。おしゃべりに夢中でちょっとした失敗もありましたが、拠点いっぱいハーブの良い香りが広がり、手のひらサイズのバームがたくさんできました。落ち込んでいた子たちは「なんかちょっとスッキリしたかも」とつぶやいていました。手作りバームは大阪に持ち帰り、CPAOに関わるシングルマザーらにも配りました。

CPAOに関わるさまざまな方からのコメントを紹介します!

CPAOの活動は、ボランティア、寄付者、関係者のみなさまの支えによって続けることができます。

- ① なまえ (あるいはニックネーム)
- ② いつもなにをしている
- ③ CPAO とのかかわり
- ④ CPAO への思い (掲載は順不同、敬称略)



- ① 宮本加代子
- ② 暮らしのお手伝いや身の回りのお世話、見守り等を年齢関係なく対応させて頂いています。介護福祉士の資格を持っています。
- ③ 平成30年11月からCPAOごはん会の調理に主に関わっています。
- ④ 最初の頃は役目だけ果たすのでいっぱいでしたが、子ども達が喜んでご飯をたくさん食べてくれるのを見ると、すごく嬉しくてホッとしています。関わらせて頂いているうちにCPAOの方々の真剣な取り組みを身近に感じ、私も何かお役に立ちたいと思うようになりました。大変勉強になります。子ども達だけでなく関わる家族にも支援が必要なんだと感じているこの頃です。これからもぜひ協力させて頂ければありがたいです。



- ① 稲塚由美子
- ② ミステリー評論家、ドキュメンタリー映像制作、民生児童委員など
- ③ CPAO 会員です。制度の隙間に落ちて困っている人にCPAOとともに紹介しています。
- ④ 児童養護施設のドキュメンタリー映画「隣の人」上映会トーク、里親・里子・実子の本音 (かもしれない?) インタビューDVD 上映会トークなどを通して、「支援」と呼ばれることの両義性を問いかけることをCPAOと共にしています。被災地に駆けつけての炊き出しにお邪魔してお手伝いもしています。CPAOのみなさんとは「隣にいる人」をほっとけない同志だと思っています。



- ① のんちゃん
- ② 建築設備業一般事務
- ③ ボランティア
- ④ 徳丸さんの「まずはごはん!」の理念に共感し寄付を始め、昨年より月1回カフェでボランティアに参加しています。活動を通じ、支援を必要とする方に公的制度や支援団体の手が届いていない深刻な現状を知りました。CPAOはその隙間を埋めようと尽力していますが、一団体でできることには限りがあります。より多くの方の関心が支援を必要とする方へ向き、日本の社会が良くなることを願い、今後も活動を続けていきたいです。



- ① 大井真利子
- ② 労働組合 (社会貢献担当)
- ③ 労組での募金活動に
- 取り組みながら報告会やCPAOカフェに参加。
- ④ 子どもたちの幸せを願って続けられている、皆さんのまっすぐで温かい思いに、いつも心を動かされています。思うようにいかない時には胸が苦しくなる、というお話を伺う度に、私たちの力は大きくはありませんが、できることを持ち寄りながら、もっとたくさんの仲間と一緒にCPAOを応援していけたらと思っています。



- ① 渡辺ゆう子
- ② 焼き菓子のオンラインショップ主宰
- ③ CPAO 理事、就労支援としてのクラフトチョコレート作りや自家焙煎コーヒーのサポート
- ④ 初期からお手伝いしていますがよく続いてきたと感慨深いです。社会がどんどん変わっていく中で愚直にフレキシブルに対応してきました。この活動を、もっと理解してもらえたらと思っています。まだまだやりたいことがあるので実現に力を貸していただきたいです。



- ① 竹村美鈴
- ② 5歳の子どもの育てている母です。
- ③ CPAO WORKSで商品管理や働く人のサポート、事務のお手伝いなどをパートタイムでしています。
- ④ 7年ほど海外で過ごし、日本へ帰国して仕事を探しているタイミングで、CPAOの求人に出会いました。海外渡航前は児童養護施設で働いており、親も含めた子どもを支援する仕事がしたいと思っていたので、CPAOの「親子丸ごと支援」の活動理念に共感しました。働き始めてみて、CPAOの「目の前の人に合わせて支援を組んでいく」という活動のフレキシブルさに驚きながらも、そうして本当に困っている人たちを支えているのだと日々感じています。私自身子どものことで時間的に制限がある中無理なく働かせていただいて、CPAOに支えられているとも感じています。私も今後CPAOに貢献していきたいと思っています。



- ① マメカフェタ
- ② 二児 (小学生&中学生) の母、パート勤務
- ③ とときどきシェアキッチンで豆カレーやチャイを作っています。
- ④ 特にこの1年ほどは「まずは、ごはん!」から始まるCPAOの支援をオンライン報告会時に対面で拝聴しました。沢山の困難に寄り添い、支えていくことは本当に大変なことだと思います。私個人でできることはないかもしれませんが、でもCPAOを応援しながら、出来ることを探していきます。



- ① 小林 Bob
- ② 経営コンサルタント
- ③ ボランティア
- ④ 天災への対応では順に自助共助公助といいますが、社会課題に対しては公助が先でしょう。しかし国や自治体の変化を待ってられない状況であることも事実で、長年共助を担い自助を支援しているCPAOさんの活動は重要だと思っています。困難な状況にあることも、その背景にある環境や社会などをもっと知り、たいしたことはできませんが、継続して関わっていきたいと思っています。



- ① 森山大地
- ② チョコレート製造
- ③ ショコラティエをしています。
- 以前はテンパリングから製作してましたが現在はカカオニブから商品化までをしています。他にも、和歌山県橋本の畑でCPAOのごはん会の時に食べる作物や、チョコレートに入れる作物も育てています。
- ④ CPAOの活動を通して、私も少しでも出来ることがあるなら出来ることをしたいと思いました。チョコレートや、ご飯会など出来ることをやっていきたいと思っています。



- ① 松原竜生
- ② 関西よつ葉連絡会事務局
- ③④ “よつ葉ホームデリバリー” という名称で、関西一円の約3500世帯に安心して食べられる食品をお届けしています。CPAOさんが取り組んでいる仕事作りとしてのクラフトチョコレート事業や能登支援を中心に関わってきました。私たちが掲げる理念の中に「目先の解決より根本的な変革を」というものがあります。根本的な問題から目を逸らさず、一番しんどい部分を引き受け活動を行うCPAOさんの姿勢は、まさにそのもの。これからも共に歩んでいきましょう。

子どもをエンパワメントするためのさまざまな取り組み

災害のあとも、子どもや家庭の暮らしは長い時間をかけて回復していきます。CPAOでは珠洲市でも子どもたちの居場所づくりや生活サポートを続けています。

能登半島地震・珠洲市三崎地区の子ども世帯支援

毎週2024年1月1日の能登半島地震で被災した珠洲市三崎地区を定期的に訪問し、子ども世帯を対象にした食材支援を行っています。今年度は休耕田をお借りして、地域の方たちから支援を受けながら大阪の子どもやボランティアとコメ作りにも取り組み、継続的な関係基盤づくりをしました。

今回の支援では、「子ども食堂」や「プレーパーク」、さらには米づくりやタケノコ掘りなど、地域の自然や文化にふれる豊かなプログラムを実施しました。手が足りない場面では、地元のお母さんたちが積極的に協力してくださり、温かい食事を時間どおりに間に合わせることができました。子ども食堂では、昨年も大好評だったペルー料理に加え、地元の方々が提供してくださったタケノコ、山菜、取り立てのワカメなどを使用しました。前日からアク抜きをして準備してくださった方や、「これもよかったら食べてね」と漬物や野菜を届けてくださる方もいて、「地域の食の力」を感じる時間となりました。(5月)



すもう大会では、全校30人ほどの子どもたちが一生懸命に取り組み、その何倍ものおとなが見守る光景が広がっていました。「1人の子どもに、5人も6人もおとなの手がある」との、あるお母さんの言葉に、CPAOが掲げる『子育ての社会化』の姿があると実感します。(7月)



三崎地区のお母さんの声から始まった米づくりの収穫準備で草刈りを行うチームと、珠洲市高屋地区でランチ&お茶会を準備するチームに分かれました。高屋の集会所では顔なじみとなってくださった方がお声をかけてくださり、近況を伺いながら交流。「仮設住宅にいて気持ちが沈みがちだから、来てくださるだけでうれしい」との声もいただきました。リクエストに応じて「次はお好み焼きを作りに来ますね!」と約束し、後にしました。(9月)



収穫祭では出来立ての新米をみんなで食べ、「自分で植えたお米を食べられてうれしい!おいしい!」と喜び、いつもは食が細い子どもお代わりしたり、農家の方からも「上出来だね」と褒めていただきました。自分たちでつくったものを食べる体験は、自信につながります。(10月)



お茶を飲みながら、震災後の暮らしの話もありました。瓦礫の撤去が終わっても、建築費の高騰で再建を断念し、転居する方もおられるそうです。「足元を見られているようで悔しい」という言葉が胸に残りました。一方で今回も近隣の方が「柿を取りにおいで」と声をかけてくださり、大阪から一緒に来た子どもや若者たちと米袋いっぱいの柿を収穫しました。山芋や銀杏など、たくさんのおすそ分けもいただき、自然の恵みと人のやさしさを改めて感じました。被災からもうすぐ2年。珠洲の方々の暮らし、特にお母さん方は、少なくなる人手やサービスの中で毎日を懸命に過ごしておられます。(11月)



CPAO WORKS

CPAOでは、若者やシングルマザーが社会とつながる機会をつくるため、仕事づくりにも取り組んでいます。2021年4月から若者やシングルマザーの仕事づくりの場として「CPAO WORKS」を立ち上げ、クラフトチョコレートづくりや、コーヒー焙煎に取り組んでいます。



シェアキッチン

大阪らしい長屋の一角のCPAOキッチンをも、CPAOの活動主旨を理解する方に貸し出しています。



ドイツ交流

ドイツ・ハンブルクで難民の子どもらを支援する団体と交流しています。2025年冬は大阪からハンブルクを訪問しました!



イベント

2025年7月13日(日)に二つのイベントを行いました!

対談 「子ども食堂」から10年

——何が変わり、何が変わらなかったか?

登壇：近藤博子(一般社団法人としび at だんだん代表理事)

徳丸ゆき子(NPO法人CPAO理事長)



上映会&トーク

「里親・里子・実子」のインタビュー動画

『思いがりすぎて~それぞれにとっての家族の形~ダイジェスト版』

トーク：稲塚由美子(ミステリー評論家/ドキュメンタリー映像制作)

CPAO 子育てをサポート!

CPAOは、制度につながる前の段階にある子どもや家庭と出会うための接点として活動しています。

私たちは周りのおとなと共に、よりしんどい状況に置かれている子どもを中心に「まずはごはん!」からつながり、みんなで「子育てをサポート」できる社会を目指し、活動を展開しています。

CPAOのあゆみ

2013.05	大阪子どもの貧困アクショングループ設立 天神橋筋商店街でアウトリーチや相談・サポート活動を開始
2013.07	シングルマザー100人聞き取り調査 (共同:セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、翌年末に調査結果を共同声明として公表)
2013.12	大阪市西淀川区で、居場所活動を開始
2014.07	高槻市カフェコモンズで子ども食堂をオープン(2016.04まで)
2014.10	里山でのショートステイ事業を開始
2014.12	大阪市生野区松野農園で子ども食堂をオープン(2016.02まで)
2015.07	学習支援事業「しゅくだいカフェ」を開始
2015.10	生野区子どもの暮らし生活調査
2016.02	NPO法人格取得
2016.06	生野区子育て社会化研究会を設立
2017.11	和歌山県橋本市の里山に活動拠点を取得
2018.04	生野子育て社会化研究会とのアウトリーチ事業「プレーパーク」を開始
2018.09	認定NPO法人として大阪市より認証
2018.12	新拠点設立のためのクラウドファンディングを実施
2019.04	生野子育て社会化研究会との協働で子ども食堂をオープン
2020.02	コロナ緊急サポート「ホットミールプロジェクト」を開始
2020.08	生野子育て社会化研究会との協働で相談会事業を開始
2020.12	シングルマザーと若者を中心とした就労サポート事業「CPAO WORKS」始動
2023	大阪市認定就労訓練事業所の認定取得
2024.01	能登半島地震で被災した子ども世帯支援活動スタート

主な受賞

近畿ろうきんNPOアワード奨励賞(2014)、大阪商工信金社会福祉賞(2015)、
糸賀一雄記念未来賞(2020)

活動ハイライト

CPAOでは「まずはごはん!」を入口に子どもや家庭と関係をつくり、
相談や生活サポートへとつながる支援を行っています。

[2025年度の主な取り組み]

ごはん会・お泊まり会・シェルター
のべ約680食

食糧パントリー
のべ600世帯

相談サポート
1035件

CPAOの活動を支えてくださる方々・団体

2025年度会員(順不同・敬称略)

法人会員・13社

SBIレオスひふみ株式会社/学校法人イエス団 甲子園二葉幼稚園 保護者会/株式会社アローズ/株式会社マリンズ
株式会社川上葬祭(株)プリレーヴジャパンRIEMI/株式会社ひこばえ関西よつば連絡会/公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団
社会福祉法人イエス団 杉の子保育園/大阪東南ロータリークラブ/田辺ファーマ労働組合
特定非営利法人活動ドネーションシップわかちあい/梅原文晃税理士事務所

個人会員・128人+寄付者10名

かたやまいずみ/トクガワカヨ/西村万寿美/ヤマモト マサヒロ/阿閉清志/安田則久/雨田宏子/榎並将志/奥中紀子
横田紀美子/横田三友紀/岡野史/下條花梨/河相武利/河野愛/柿本享子/菊池高波/菊田雄二/吉田雅生/吉田寿雄
久保寛/宮階真紀/宮原契子/玉川千雅子/金子篤史/金村晶仁/熊田梨恵/古後奈緒子/高橋悦子/高見直子/高木秀章
黒田静代/佐藤浩一/坂本卓己/笹本翠/山口寛/山根希美/山本哲史/車谷浩一/小河光治/小玉彰/小坂次郎/小山美香
小林敬/小林歩/小林祐介/松下佳代/松下薫/松下千鶴子/松村暢彦/上田将史/神戸睦史・真紀子/杉浦藍/西嶋恭子
西澤慎二/斉藤修/石橋美生/石田育男/赤松奈津子/赤銅秀規/仙敷久善/川崎なぎさ/宋美玄/村松亨/村田直子
大井真利子/大江恵/大西尚子/谷口美代子/谷本昌三/池田耕一郎/中山義裕/中山李咲/中村研/中村志津子/中島章
中野英治/中野朝子/田村三佳子/田代千治/田中ゆう子/田中健司/田中(遠藤)春菜/田邊義博/登田祐子/藤本剛士
二宮克也/乃木正彦/島平恵里/飯田憲生/番匠森人/浜崎俊明/富川正子/武内一/服部祐介/福井宏/福井浩/福井章
福盛栄二/平尾和真/豊田健治/豊田真一/ト田真一郎/堀川可奈子/野村光平/野村俊明/野地岡裕之/矢納尚美/柳澤由美子
鐘時太/勇元浩哲/友田ちひろ/立堀尚子/廣江満/榮田正三郎/他
(メールで連絡しご承りいただいた方のみお名前を記載しました)

各種助成金2025年度

こどもの未来応援基金 未来応援ネットワーク事業(独立行政法人福祉医療機構NPOリソースセンターWAM)/カゴメみらいやさいαこども食堂
継続応援コース(カゴメみらいやさい財団)/ボラサポ・能登半島地震 第8回中長期助成事業(赤い羽根共同募金)/令和7年食を通じた親子
の見守り支援助成事業(一般社団法人こども宅食応援団)/第3回「LIFULL HOME'S基金」公募助成(LIFULL HOME'S基金)/令和7年食
を通じた親子の見守り支援助成事業[補正](一般社団法人こども宅食応援団)

その他

NPO・NGO インターンシップ大学生(NPO法人ドットジェイビー)
追手門学院大学国際学部平井ゼミ

連絡先 認定NPO法人CPAO

☎ 544-0002 大阪府大阪市生野区小路1丁目22-1 電話 06-6753-7204 ホームページ <https://cpao0524.org/>
<https://www.facebook.com/cpao0524> <https://www.instagram.com/cpao0524/>

認定NPO法人CPAO活動報告書2025年4月~2026年3月

発行:認定NPO法人CPAO 2026年3月

発行助成:こどもの未来応援基金 未来応援ネットワーク事業(独立行政法人福祉医療機構NPOリソースセンターWAM)